THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A.

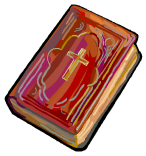
THE Y'S MEN'S CLUB OF NANZAN

国際会長主題　「全ての世界に出て行こう」
アジア会長主題　「未来を始めよう、今すぐに」
西日本区理事主題　「志をもって例会に参加し、学びの機会をもちましょう」
中部部長主題　「長所を活かして生き生きと！」
クラブ会長主題　「みんなで創る例会」

２０１３年１１月

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

会長	小林　滋記	**副会長**	森本　征夫	**書記**	杉山　弘時
会計	都築　正和	**直前会長**	小塚　英史	**連絡主事**	中井　信幸



今月の聖句

「大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です。」

コリントの信徒への手紙　３章７節

１１月例会案内

第一例会

日　時：１１月１４日(木)１９：００～２１：００
場　所：南山ＹＭＣＡ
卓　話：「変わりつつある名古屋ＹＭＣＡ」
講　師：　中村　名古屋ＹＭＣＡ総主事

今名古屋ＹＭＣＡは大きなうねりの中にいます。普段南山ＹＭＣＡに例会出席だけで過ごす我々南山ワイズのメンバーには中々感じられませんが、中村総主事を迎え名古屋ＹＭＣＡは新しい局面に向かいつつあります。緑区での保育園開園に向けての動きなど色々中村総主事から直接お伺いし、ＹＭＣＡのために何ができ、南山クラブもどんな奉仕をし、どこへ向かうのかを考えるきっかけにしたいと思います。

第二例会

日　時：１１月２１日（木）１９:００～
場　所：南山ＹＭＣＡ
議　題　１．１２月例会確認
　　２．秋の特別プログラムの反省
　　３．その他

１０月第一例会報告

日　時：１０月１０日（木）
場　所：名古屋ＹＭＣＡ会議室
出　席：浅井、荒川、加藤、小林、近藤、杉山
　　都築、森本、深尾、

１０月は、９月に続いてプラザクラブとの合同例会で平口中部部長の「東アジアの捕鯨の歴史」という興味あるお話を伺いました。縄文時代より日本では、捕鯨がされていた歴史を専門家の平口部長より直接色々な資料と共に講義頂き大変面白かったです。ワイズの卓話というより大学の講義で

１０月報告	在籍１０名	第１例会出席	第２例会出席	メークアップ	出　席　率
		９名	８名	１名	１００％

日本海から韓国までのあちこちの遺跡に残る鯨、イルカの骨などから推察し、縄文時代の食生活、さらには文化そのものに至る色々な話題で興味を逸らさず解説頂きました。捕鯨とか鯨等は、我々にとっては太平洋側の和歌山とか千葉などの事と思っていましたが、今回は日本海側を中心にお話頂きました。機会がありましたら是非太平洋側の色々な話もお伺いしたと思いました。平口さんわざわざお出かけ頂きありがとうございました。

１０月第二例会報告

日　時：１０月２６日（土）１９：００～
場　所：南山ＹＭＣＡ
出　席：浅井、荒川、加藤、小林、近藤、杉山
　　都築、深尾

第二例会は、ピースフルサンデーの準備を兼ね、１０月２６日（土）に持たれました。翌日の準備でしたが、毎年恒例の事で手際よく射的の準備が出来ました。今年は少し形が変わり景品は、ゲーム全般に一括後で手渡しという方式になりましたので、準備に手間取ることはありませんでした。

浅井さんより急きょ台湾からのワイズ接待ということで、浅井、小林、深尾の３名が夜遅く出かけました。交流のいい機会なのですがもう少し計画性が持てれば南山クラブとしても対処の仕方があるのに、と思う次第でした。

ピースフルサンデー報告

日　時：１０月２７日（日）
場　所：南山ＹＭＣＡ
出　席：浅井、荒川、荒川メネ、加藤、小林、近藤
　　杉山、都築、深尾、森本

南山ＹＭＣＡの最大行事のピースフルサンデー、絶好の秋日和でどこか他の行楽地に出かけられるのではないかと心配しましたが、沢山の方がお出かけくださいました。南山クラブは、恒例の射的コーナーと「みたらし&飲み物コーナー」を担当しました。景品の受け渡し方法が変わり、少し盛り上がりにかけましたが、それでも大盛況。担当者が少なく昼食も取れず大変でした。また「みたらし」コーナーも快調で早々と完売でした。「飲み物」コーナーの方は閉会直前まで列をなし、大変でした。また近藤君産のハイビスカス（ローゼル）も好評でした。

農場便り

１）１０月１２日　農場でねぎの植え替えをしました。正月野菜ですのでファンド作りにまたご協力ください。　出席：荒川、都築、杉山、近藤
２）１０月１９日　ＹＭＣＡのブルースカイクラブがプログラムのため農場を訪れました。６月に自分たちでイモの苗付けをし、それの収穫というプログラムで、掘ったばかりのイモを利用し、シチューを作り昼食を食べました。
　　出席：荒川、杉山、近藤

フェローシップインナンザン報告

日　時：１１月３日（日）
場　所：南山ＹＭＣＡ
出　席：浅井、荒川、加藤、小林、近藤、近藤メネ
　　杉山、都築、深尾、森本
ゲスト：岡本
　　菊里高校卒業生３名

我がクラブ最大に恒例行事フェローシップインナンザンの日でした。前々日位から３日は雨の天気予報で緊急対策も含め大変苦慮しましたが、何とか薄も射す曇り日で、暑くもなく寒くもなく絶好の日和となりました。今回はリーダーの参加が無くすべてメンバーで行うという本当の意味での南山クラブの作業でした。資材運搬も加藤君と浅井君、食事作りは浅井君、森本君、加藤君、イモ掘り準備は、都築君、杉山君、小林君、近藤君、深尾君、荒川君、助っ人の岡本君など本当に良く奉仕しました。例年とは違う働きでした。南山クラブもまだまだ若いものです。招待者は例年の「南山寮」と「あんずの会」

の２施設５０名程、いつもの「名広」とは連絡の行違いか参加が無く少し残念でした。イモの不作を補う盛会でなんとか今年も盛り上げることが出来ました。それでも、マンネリ化は否めなく、来年度にむけ今一度しっかりとした反省をしたいと思います。例会の折時間があれば是非反省会を持ちたいものです。

お手伝い頂いた菊里高校の卒業生の皆さん有難うございました。

チャリティーランだより

日　時：１１月２日（土）

場　所：名城公園

出　席：荒川、加藤、小林、森本

チャリティーランが名城公園で開催されました。今年も５０余チームの参加があり大変盛り上がりました。南山ＹＭＣＡからも数チームが出場しましたが、南山クラブは丸和チームをスポンサーしました。以下は丸和チームから寄せられた感想です。

――――１１月２日、名古屋ＹＭＣＡチャリティーランに参加しました。前日までは天気が崩れるかもしれないという予報でしたが、「チャリティーランの日は必ず晴れる」というジンクス通り、良い天気の中行われました。今回も様々なコスチュームを着たチームがあったり、うどんやお団子などの露店があったりと、お祭りのような雰囲気で楽しむことができました。タスキリレーは緊張しましたが、司会の方の「エンジョイして走りましょう」という言葉で肩の力が抜け、自分のペースで楽しく走ることができました。結果は３７位とけして良い順位ではありませんでしたが、走り切った達成感で清々しい気分でした。障害を持った人もそうでない人も共に楽しむことのできるこの「チャリティーラン」というイベントは、とても貴重なものだと思います。これからもこのような活動がどんどん全国に広まっていくと良いなと思いました。――――

幼稚園・ＹＭＣＡ だより

＜台風３０号のこと＞

台風３０号が通過したフィリピン・レイテ島では、日が経つにつれて被害の甚大さが報道されています。１９７７年以来名古屋ＹＭＣＡとフィリピンＹＭＣＡとは、ワークキャンプを通じた交流を続けており、近年はルソン島中部にあるアルバイＹＭＣＡとの交流を継続しています。被災された人々や地域のことを思い、またアルバイＹＭＣＡとの交流を継続しています。被災された人々や地域のことを思い、またアルバイＹＭＣＡが近隣のＹＭＣＡと共同して支援活動を行うことが考えられます。フィリピンＹＭＣＡの関係者を顔の見える隣人として、その苦難に寄り添うためにも、緊急の支援募金を行うこととなりました。

ご協力いただきますようお願いします。

＜収穫感謝礼拝＞

運動会・ピースフルサンデーが終了した幼稚園では、収穫感謝の時を迎えています。家庭から持ち寄った

くだもの・野菜などホールに集め、幼児にも収穫の恵みを実感できる感謝の礼拝の時を持ちました。「感謝祭の起源は今から約３５０年ほど前、信仰の自由を求めてイギリスからアメリカ大陸にやってきたピューリタン（清教徒）と呼ばれる人々が、何もない荒れ野を見て途方に暮れたところ、原住民のインディアンからトウモロコシの種を分けてもらい、多くの実りが与えられたその恵みに感謝する礼拝をささげたのが始まりだといわれています。」（感謝祭 保護者向けリーフレット より）

＜やっとかめ＞

個人的なことですが、１０月１３日（日）、秋晴れの森林公園野外音楽堂に結成４０周年を祝うため、センチメンタルシティロマンスのメンバーや元青年が集まりました。私もその一員でした。キーボードの細井豊さんは、私の中学・高校の同級生で今でも親しくしています。４０周年を記念したリーフレットに、各メンバーが４０年を振り返ったひとことが掲載されています。細井さんの欄には、「名古屋で音楽を演りたくて、フォークの集まりだとか、ブラスバンドや合唱部などに顔を出したり、高校生バンドの時にＹＭＣＡで演らせてもらったり。」という一文が載っていました。１９７０年代前半、名古屋ＹＭＣＡ少年部でやった高校生音楽フェスティバルのことかと推察し、私もＹＭＣＡの仲間と演った記憶がよみがえりました。

（加藤 明宏）

ステップⅡ研修　　中井 信幸

全国のＹＭＣＡから精鋭?の１４人(なんと男ばっかり!)が、9月１７日から東山荘とＡＹＣで７５日間の2ヶ月半の研修も４０日が過ぎ、後は終了論文だけとなりました。私は、御岳・日和田高原キャンプ場と定例野外のことについて各準備を進めています。名古屋ＹＭＣＡに戻ったときには、どこかでお話しすることがあると思います。その時は聞いてやってください。

講義は２３科目におよび、キリスト教、ＹＭＣＡ史、子どもと青少年、人間関係、マーケティング、プログラム開発、現状のＹＭＣＡの課題と解決、ファンドレイジング、学 Y、国際理解、開発教育、組織改革、人材管理など多くのことをまなびます。インプットが多すぎて爆発しそうなくらいです。それを生かして今後の名古屋ＹＭＣＡのための論文が書けたらなあと思います。

講義もですが、全国から集まると、まぁ色々なスタッフがいます。毎晩記憶がなくなるくらい飲んでいる方、泣き上戸で礼拝の奨励で自ら泣く方、自己紹介で４０分も話をする方、勉強一筋で黙々とやる方等、１４人について書けば論文が出来そうなくらいです。変わった仲間と「同じ釜の飯を食べる」ということがどんなに大切かよくわかります。昔は1年間もこの研修が続いたそうです。(ええなぁ)夜に集まっていろいろ話していると、腹をかかえて笑うような話もたくさんあります。真剣に話して涙ぐむ方もいます。年齢層は３２歳から４８歳(私は最年長･･･)までと幅は広いですが、やはりＹＭＣＡで楽しいことや悩んでいることなど分かち合い、有意義で楽しい時間をすごしています。こういった時間を大切に、まだまだ学んでいきたいです。

例会出席表

		10／10第一例会	10／19	10／26第二例会	10／27PS
1	浅井　昭和	○		○	○
2	荒川　文門	○	○	○	○
3	加藤　明宏	○		○	○
4	小林　滋記	○	○	○	○
5	近藤　　豊	○	○	○	○
6	杉山　弘時	○		○	○
7	都築　正和	○		○	○
8	中井　信幸				
9	深尾　俊雄	○		○	○
10	森本　征夫	○			○